

美馬中学校



1 学校の概要

- (1) 生徒数 154名
- (2) 校訓 「自律・創造・友愛」

めざす生徒像

- ①自らすすんで正しいと信ずることに自分を方向づけ、実践していく強い意志の持ち主であること。
- ②進歩発展していく現代社会に処していくために、常に創造的精神をもって努力する人間であること。
- ③他に対し、努力して心をひらき、自分も友達も大切にする人間であること。

(3) 環境目標・テーマ

～広げよう持続可能な社会の実現のために学校全体で取り組むエコプロジェクト
育てよう、限りある自然を大切に、郷土を愛する学校づくり～

2 行動方針

- (1) 学校における節電・節水に努めます。
- (2) 学校におけるごみの分別に努めます。
- (3) 学校におけるリサイクル活動を行います。
- (4) 環境に優しい取組について各家庭にアンケート調査を実施し、環境美化・ボランティア委員会で「環境新聞」を作成して配布します。
- (5) 地域の清掃活動に取り組みます。(除草作業、校外学習での清掃活動など)

3 行動

(1) 節電・節水の取組



- ・環境美化・ボランティア委員会が、節電・節水を呼びかけるポスターやシールを作成し、教室のスイッチ、廊下、手洗い場に貼って啓発活動をしている。
- ・毎月の電気使用量を調べてグラフにしている。昨年度の電気使用量と比較し、より節電を意識して生活するよう、呼びかけている。

(2) ごみ分別の取組



- ・職員室のごみや教室から出るごみを種類別に分別し、燃やせるごみとリサイクルごみとして出している。また乾電池は美馬市に引き取ってもらっている。

(3) リサイクル活動の取組



- ・本校では、これまでもエコキャップ運動という、ペットボトルのふたを集める運動に参加している。これは、ペットボトルのふたを回収することで、「二酸化炭素の削減」、「雇用の創出」、「再資源化」を図るプロジェクトである。この活動は3年目となり、これまでに15000個以上のキャップを送った。今年も環境美化・ボランティア委員会が中心となり、キャップの回収を継続していく。

(4) 「環境新聞」の作成・配布の取組



- ・夏休みに「家庭ですすめるエコアイデア」を募集し、家庭で行っている環境に優しい取組や、これからすすめたらよいと思われる実現可能なアイデアを提出してもらった。環境美化・ボランティア委員会で、そのアイデアをまとめ、「環境新聞」を発行し、家庭でもよりエコに取り組んでももらえるよう呼びかけた。

(5) 地域の清掃活動の取組（除草作業、校外学習での清掃活動など）



- ・夏休み明けに全校一斉に除草作業を実施し、学校周辺の道路の草もぬいた。
- ・1年生は四国三郎の郷で校外学習後、周辺の清掃活動をした。
- ・3年生は美馬町の青木家住宅での藍染め体験後、ドライフラワー用の藍の花を採取し、地域の環境を守る活動を行った。

4

具体的効果

- ◆電気の使用量が見える化したり、節電・節水を呼びかけるポスターなどを掲示することで、節電・節水への意識が高まっている。
- ◆リサイクル活動としてのペットボトルキャップの回収をはじめ、学校内の紙のリサイクルなどにも取り組み、ゴミの減量化などへの意識が高まっている。
- ◆「環境新聞」の発行や地域での清掃活動などを通して、家庭や地域と連携した活動につなげることができた。

5 改善点

- ◆節電については、グラフ化して掲示するだけでなく、環境美化・ボランティア委員会を中心に積極的にクラスでも呼びかけ、節電を行っていきたい。
- ◆教職員と生徒が環境について話し合える機会を積極的に設け、活動内容を振り返ったり、改善したりし、よりよい取り組みにつなげていきたい。